

## 麻生区区民会議 第5回若い世代が住みやすいまちづくり部会 議事要旨

- 1 開催日時：平成27年4月24日（金）午後3時00分～午後4時50分
- 2 開催場所：麻生区役所第4会議室
- 3 出席者：〔専門部会委員〕石井委員、金光委員、白井委員、菅野委員、山田委員、吉垣委員  
（欠席）上野委員、梶委員、高橋委員  
〔事務局〕企画課 井上課長、白石担当係長、佐藤 [コンサルタント] 佐藤
- 4 傍聴者 1名
- 5 議 事

### （1）企画部会からの報告について

- ・第5回企画部会の審議内容について菅野委員より説明。第5期全体テーマについて報告。

### （2）調査審議課題の検討について

#### 【決定事項】

- ・流山市からの回答を見て、「ブランド化とPR」について検討していく。
- ・「空き家の利活用」について、市や区の取組を適宜の時期に話を聞くなど情報共有をした上で、部会の空き家の利活用の方向性を決めていく。
- ・6大学連携や不動産業者にヒアリングをしていく。

#### 【主な意見】

##### （麻生区の魅力のブランド化とPR）

- ・ウェルカムガイドの製作について、流山市が業者に依頼をしたときに、どういうポイントを目立たせるように指示をしたのか、必ずカ点などについては調整をしたはずなので、その辺りを聞けると参考になるのではないか。
- ・シティセールスプランを作る前にはいろんな部署が関わっているので、その辺りを聞けるとよいのでは。
- ・全国7位になった流山市、そのポイントは何なのか、また委員の出した質問事項の内容を盛っていくことで形がみえてくるのではないか。
- ・住まいの未来に流山市が掲載されていて、流山市では行政と民間が一体となり、高齢者が持ち家を買ったり貸したりする仕組みづくりがなされている。
- ・流山市に質問した内容に答えを作っていけば、それが提言に繋がるのではないか。

##### （空き家の利活用について）

- ・空き家の利活用は若者を引き入れるための1つの手段となる。
- ・現在川崎市が進めている空き家の取組について、住宅整備課の担当に、昨年度調査の枠組や調査結果など、行政の視点での話を聞けないか。それから、区民会議での議論が反映できるのか、また、市の視点と区民会議の視点の整合性についても検討が必要。  
→王禅寺西と東百合丘について、まちづくり局でコンサルを使って外観から空き家かどうかを調査していたが、その後、空き家の所有者に利活用の意向はあるのかなど町会経由で聞い

ているが、まだ公開できる段階ではない。

→麻生区でも空き家の取り組みがあり、学生を入居させるという話しも出ているが、まだ公開はできない。市と区の情報が公開されないと区民会議の議論が進まないため、できるだけ努力をしたい。

- ・ 宅建業会北支部にも問い合わせをし、詳しい人に来てもらい話を聞いてみるのはどうか。
- ・ 賃貸を安く貸すかわりに、地域活動に参加をするという取組を横須賀市で行っているの、それについてヒアリングを行い参考にするのはどうか。
- ・ 大学側にも住居についての相談が学生から寄せられているはずなので、その辺りを聞けないか。
- ・ 昭和音大では、学生課が案内している。しかし実際の案内は子会社としてプレルーディオが入り、仲介手数料を払わないですむようにしていたり、業者を紹介していたりする。学生には好みもあるので、間に入りきちんとケアをしていく必要があり、大学の職員だけでは受けきれない。
- ・ 駅の周りの不動産さんあたりは大体状況を把握している。
- ・ 6大学連携で話をしていただければ、学生課などの職員が出ているので話をきけるのではないか。
- ・ 学生を対象にするのではなく、卒業生をターゲットにし、卒業後も麻生区に住み続けてもらうために何か考えられないか。
- ・ 麻生区全体で空き家が何件あるのか。  
→住宅統計調査で数が出ているが、空き家の定義が広い。次回、情報提供をしたい。
- ・ 行政、大学、不動産業者、ボランティアとの連携が必要であり、相互にメリットがないといけない。また、東急のように小田急にも積極的に参加をしてもらう必要があるのではないか。

#### (4) 次回への検討

- 流山市からの回答を踏まえ、重点的に麻生区の魅力のブランド化について審議を進めていく。
- 空き家の利活用について、まちづくり局の調査の内容など行政の情報、宅建業会の情報を元に、聞き取り等について検討する。
- 全体会議の資料を確認する。

以 上